

# 私には 松坂まさおの政策と課題 夢がある。 いっしょに考えましょう

## 命をつなぐまち 歩きやすい街

### 命をつなぐまち

このたびの東日本大震災で、私たちは色々なことを考えました。私たちは少し無駄遣いや贅沢が過ぎていたのではないか？自分の置かれている環境に不平不満ばかり言って、感謝の気持ちを忘れていたのではないかと。

一番大切なものは『命』であって、人と人の絆だということ。困った人を救うことが最優先であり、それこそが政治なのだと教えてくれています。

松坂はこれまでも「市民の目線」を強調してきました。その市民とは、弱い立場の人たちのことです。自分さえよければ周りはどうなっても構わない、という市民ではありません。世の中を動かしているのは金持ちだ、と考える市民ではありません。

弱い立場の人を思いやる事のできる、困ったときはお互い様と考えられる普通の市民の目線です。

松坂は改めて、弱い人の立場に立って考え、困った人たちのために行動することを誓います。

究極を申し上げれば、マザーテレサの「死を待つ人々の家」であります。人の死は避けられません。でも孤独のまま死なせることだけはしない。島原半島は残念ながら孤独死が多いようです。自殺などという悲しい選択をする前に、誰かに相談できる、孤独死の無い『優しいまち』を一緒に作りましょう。

### 歩きやすい街

官公庁や病院、各種公共施設の集まる中心市街地は歩行者優先でなければなりません。

子どもや障がい者は車が運転できません。高齢者はやがて車を降りなければなりません。歩行者に優しい街は、全ての人に優しい街です。車との共存を工夫し公共交通を充実させ、歩行者に優しい街づくりをめざします。

市役所建替えは最小限にとどめ、島原城周回遊歩道や初市が出来る広場機能を持った大手広場の整備を提案します。

ここにもまた交通においていちばん弱い立場の歩行者の視点が必要です。さらに言えば車椅子利用者、押車や杖を使う人のことを考えなければなりません。

### 官民格差の是正

いつの間にかあまりにも開きすぎた官民の格差は、公務員の肩身を狭くさせ、市民の納税意欲を減退させます。松坂は極端なことは言っておりません。不必要な手当や法外な旅費などから、公務員給与を見直そうというものです。天下りなどはもつてのほか。決定権が議会にあることを議員は自覚しなければなりません。基準は市民の生活水準です。

### 宝の海を子供たちへ（諫早湾排水門を開け）

干拓利権に群がる権力者たちが情報操作で住民の不安をあおっている現状です。知事らの愚行は、証明済みの地動説を天動説でひっくり返そうというようなものです。

目先の利権のために子供たちの未来の環境を奪っていいはずはありません。責任を取らない役所の暴走を止めるのも議会なのですが議員を選ぶのは市民です。市民にも子どもの未来を奪う権利はないはずです。